

第23回 由利本荘市行政改革推進委員会

開催日時 平成30年7月5日(木) 午前10時00分～午前10時45分

開催場所 由利本荘市役所 5階 第8会議室

出席委員(敬称略)

委員長 今野正樹(秋田しんせい農業協同組合 代表理事専務)

委員 梅津眞子(秋田しんせい農業協同組合 女性部副部長)

委員 土田典子(由利本荘市婦人団体連絡協議会 会長)

委員 安倍一毅(公益社団法人由利本荘青年会議所 理事長)

事務局

総務部 部長 原田正雄

総務部政改革推進課 課長 東海林正人

総務部行政改革推進課 参事 阿部良博

総務部行政改革推進課 主査 新田朋己

※「1. 開会」から「2. 委員長あいさつ」までは事務局が進行。「3. 案件」以降は委員長が進行。

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 案件

(1) 第3次行政改革大綱実施計画の進捗状況について「資料1」

(事務局から資料に基づき説明)

【質疑応答】

〈市内斎場の方向性の検討について〉

(質問) 市内斎場は本荘、矢島、由利、東由利にあるが、今後集約など考えているのか。

(回答) 老朽施設もあり、集約も含めその方向性を協議していくことになるが、住民意見を伺いながら検討していく。

(2) 指定管理者制度導入更新施設について「資料2」

(事務局から資料に基づき説明)

【質疑応答】

〈対象施設について〉

(質問) 施設の数がとにかく多いことに驚く。人口減少で利用者も減ることが予想されるので施設の廃止も考えてなければならない。管理費用も多額になり収支的にも負担の方が多いのではないか。

(回答) 合併前の各市町では、たとえば、地域集会施設を各町内に整備するなど、特徴的に整備された施設があるため、単純に施設の数減らしていけない事情もある。

〈公募と指名について〉

(質問) 指定管理者を、公募する場合と指名する場合の違いは

(回答) これまでの実績と、特に第三セクターは施設管理のために設置された会社であることなども考慮している。

〈施設の有効利用について〉

(質問) 農産物の振興のため、加工施設を作り、第三セクターを立ち上げたりしてきたが、作付け規模の縮小など状況が変化しているなか、今後どのようにしていくのか。

施設によっては、地域でもあまり利用されていないものもある。

(回答) 農産物の特産品化を図るため、また、地域への誘客を目指し施設整備がされてきた経緯があるが、全てを維持するには負担が大きいため、施設の集約が必要であると考えている。

〈まとめ〉

(委員長) 施設の必要性を見極め、可能な限り施設を集約しコストの削減を図っていただきたい。

4. その他

〈事務局より〉

(報告) 現在の行政改革大綱が平成31年度までの計画であり、新たな大綱を来年度に策定する予定。

今年度も作業を行うが、委員からも意見を伺いたいのでその際にはよろしく願いたい。

〈その他の事項〉

(質問) 所属団体の会合のため、とある施設の利用申し込みを行った際、空調が故障し10月まで使用できないといわれた。夏季の開催であったため、日程を変更し他の施設で行うことにしたが、できることであれば、空調修繕は夏季前に終わらせ、夏季には使用できるように手配してほしい。

(回答) 突発的な修繕で高額の場合、予算確保などの理由により着手まで時間がかかる場合もあるが、ご利用にご不便をおかけしないよう対応したい。

(質問) 壊れる前にメンテナンスする必要があるのではないか。予算の制約もあるだろうが計画的な修繕をお願いしたい。

(回答) 財政事情もあり、修繕計画を策定しメンテナンスしているのだが、突発的で高額な修繕の場合、対応に時間を要することもある。できるだけご不便のないように対応したい。

5. 閉会